



断熱と快適、その心地よい関係

暖房しても部屋が寒く感じる。冷房は足腰ばかりが冷えて涼しく感じられない。これでは快適な住まいとはいえません。この不快感は、断熱不足が原因です。



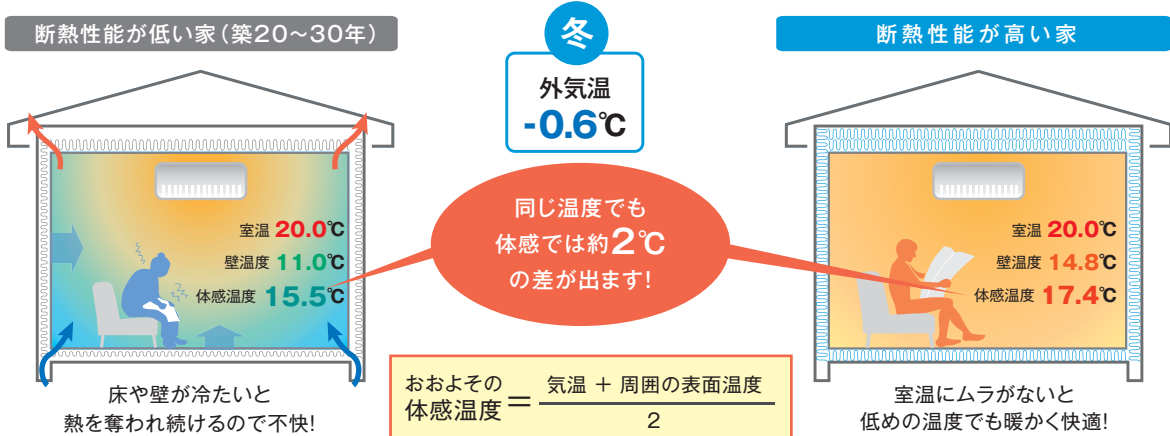
冬、同じ室温でも暖かさが違う という事実!

同じ温度でもカラダが感じる温度(体感温度)が違うことをご存じですか? 例えば気温が30℃の時、道路と緑の多い公園にいるのではどちらが涼しく感じられるでしょう。

下の図は断熱性能が高い家と低い家で、同じ室温20℃で体感温度がどのくらい違うか示したものです。室温が同じ

でも、床、壁の表面温度が低いと寒く感じられることがわかります。断熱性能を高めると表面温度が上がり、室温20℃でも十分暖かく感じられるようになります。

また、室内の温度ムラが少なくなるため、足元も壁際も暖かく快適に過ごせます。



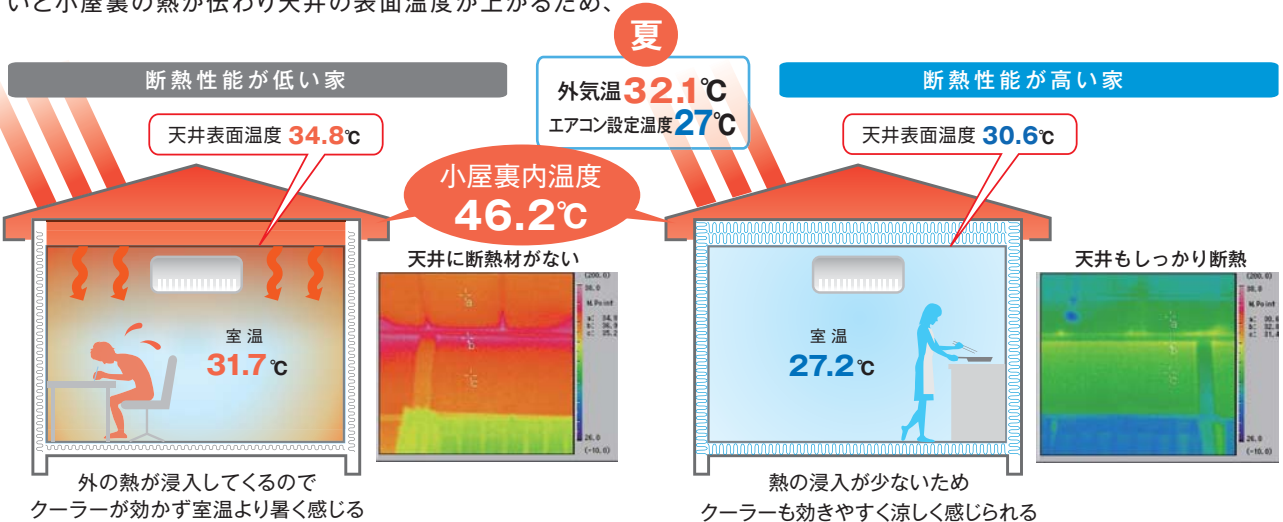
2020年を見据えた住宅の高断熱化技術開発委員会(HEAT20)パンフレットより作成



夏、クーラーが効くようになる という事実!

断熱性能を高めることでクーラーが効きやすくなり、夏もグンと過ごしやすくなります。特に夏は小屋裏内の温度が50℃近くまで上がるため、天井に断熱材を施工していないと小屋裏の熱が伝わり天井の表面温度が上がるため、

同じクーラーの設定温度でも暑く感じられます。天井にもしっかりと断熱材を入れ、建物の断熱性能を高めることで、27℃設定でも涼しく快適に過ごせます。



当社測定値より



断熱と家計、そのうれしい関係

高断熱住宅がお得なのは、冷暖房費が節約できる省エネ効果だけではありません。住宅ローンや減税など、家を建てる時にもいろいろなメリットがあります。



冷暖房コストが下がる 設備にかかる費用も減る という事実!

住宅の断熱性能を平成25年基準の断熱等性能等級4の家
にすると、その省エネ効果は下記の通り。年間約3割も冷
暖房にかかるエネルギーが節約できます。

それだけではありません。冷暖房効率が上がるので、冷暖
房機器にかかるコストも抑えられます。

● 1年間に使う冷暖房費を比べてみると…

断熱等性能等級3の家



約**68,000円**

断熱等性能等級4の家



約**47,000円**

冷暖房費が
約**30%**
お得!

アクリアでつくる
断熱等性能等級4の仕様例
(4地域以南)

天井 アクリアマット 14K155mm

壁 アクリアネクスト 14K85mm

床 アクリア Uボードビュレス
24K80mm

※東京、木造軸組、一定の条件のもとで事業主基準温暖地モデルプランによる試算。当社計算値

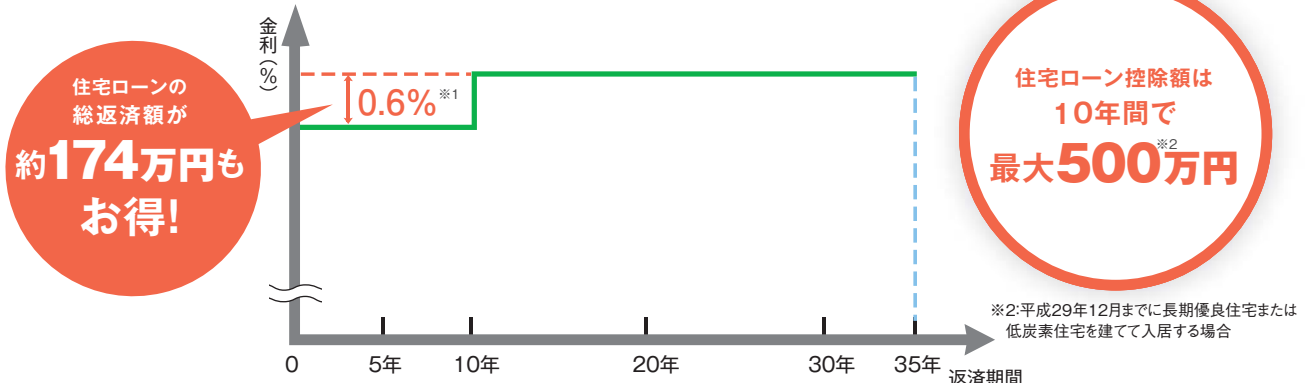


減税や住宅ローン控除のメリットも大きい という事実!

一定の基準をクリアした省エネ住宅なら、さまざまな優遇措
置が受けられます。

例えば[フラット35]S。最長35年の全期間固定金利の住宅
ローンが、さらに一定期間金利を引き下げて利用できます。

また、所得税、住民税、固定資産税、贈与税などの減税や優
遇措置などがあるので、こうしたメリットを賢くしっかり活用
すれば、断然お得な家づくりができます。



【フラット35】S(金利Aプラン)を利用した場合の試算例

借入額3000万円(融資率9割以下)、借入期間35年、元利均等返済、ボーナス返済なし、借入金利年1.47%の場合(当初10年間の金利は年0.87%)

※1:平成28年1月29日までの申込受付分に適用

出典:住宅金融支援機構ホームページより(2015年3月)